

平成27年度 第1回富山県道路安全・円滑化検討委員会 議事概要

開催日時：平成27年10月14日(水) 10:00～12:00

開催場所：富山河川国道事務所 大会議室

出席者：富山国際大学現代社会学部教授

一般社団法人富山県自動車会議所専務理事

公益財団法人富山県交通安全協会専務理事

北日本新聞社編集局報道本部長

中日本高速道路(株)金沢支社保全・サービス事業部交通管制チームリーダー

富山県警察本部交通部交通規制課長

北陸信越運輸局富山運輸支局長

北陸地方整備局道路部道路計画課長

北陸地方整備局富山河川国道事務所長

富山県土木部道路課長

富山県土木部都市計画課長

議 事：(1) 渋滞対策

- 1) これまでの検討経緯
- 2) 県内主要渋滞箇所の動向
- 3) ホームページでの意見聴取
- 4) 今後の進め方

(2) 事故対策

- 1) 安全走行阻害箇所
- 2) 進捗状況
- 3) 対策事例
- 4) 事故対策マネジメントサイクル
- 5) 効果評価
- 6) 新規登録区間
- 7) H26年度事故危険区間登録箇所数

議事要旨

(1) 渋滞対策

- ・ 渋滞対策の基本方針について、了承された。
- ・ 道路利用者は関心があると思うので、意見をホームページでしっかりと集めるようにした方がよい。
- ・ アウトレット開業による渋滞や西中野交差点での誤進入等の対策を検討しているか？
 - 西中野交差点については、交通誘導を強化したことで誤進入は減少している。
今後も経過を観察し、必要に応じてアウトレットや警察と連携して対策を検討する予定である。
- ・ 損失時間が大きく減少した箇所や渋滞が解消した箇所は今後どうしていくのか？
対策をしても効果が無いとなると、利用者に誤解を与えてしまうのでは？
 - 損失時間が減少しても交通量の多い交差点等では抽出要件に該当する場合がある。
交通の流れが変わっている可能性もあるので、北陸新幹線開業後の調査結果等を踏まえ、データを精査していく。
抽出要件は全国横並びであり、必要に応じて現地状況を確認し、データだけに頼らずに渋滞箇所から外すことも今後検討する必要がある。
- ・ 新幹線開業による影響として、県内のレンタカーの状況を把握した方がよい。
- ・ 損失時間の変化について、利用交通の特性(業務用や一般車)による影響を分析の視点に加えてみたらどうか。

(2) 事故対策

- ・ 事故対策の基本方針について、了承された。
- ・ 県管理道路に比べ、直轄国道の対策完了箇所が少ないのでは？
 - 平成27年度に対策を完了する箇所が多い。直轄では、用地取得など時間を要する大規模な事業が多いことも要因のひとつであると考える。
- ・ 生活道路対策について、今後どのように導入していく予定か？
 - ビックデータを活用し、危険箇所を選定する。所轄警察に相談しながら箇所の選定を進めていきたいと考えている。また、対策は県内全域ではなく、危険箇所を抽出し絞り込んで進めていく。
- ・ ドットラインの表示意味を理解していないドライバーが多いと思うので普及を進めた方がよい。

以 上